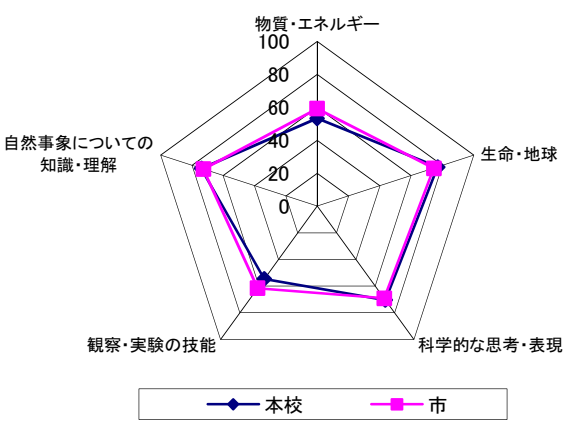


宇都宮市立御幸小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	53.3	59.3
	生命・地球	76.9	74.4
観点別	科学的な思考・表現	70.5	69.2
	観察・実験の技能	54.7	61.6
	自然事象についての知識・理解	73.9	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は53.3%と市の平均正答率より6%下回った。「ものの体積と温度」や「もののあたためり方」の内容理解が不十分であった。「水のすがた」では、水が沸騰してから湯気になるまでの水の状態や水が凍った状態の項目は、市平均正答率を上回った。	・この領域を指導するにあたっては、数値で表すことができないものがあるので、目で見えた事象を理科的にとらえ直して正しく理解できる指導が必要になる。そのため、実験→言葉での説明→実験→ノートにまとめるなどのように、繰り返して確認できる場を設定して指導する。
生命・地球	・平均正答率は76.4%と市の平均正答率とほぼ同じであった。細かくみてみるとどの単元も、同じぐらいか、上回っていたものが多かった。しかし、「魚のたんじょう」のメダカのたまごの正しい観察のしかたは市の平均正答率を35.2%下回っている。	・この領域を指導するにあたっては、顕微鏡を使っでの観察や校庭での実験など実際の活動を重視するだけでなく、デジタル教科書やインターネットなどの映像資料を活用して、具体的なイメージが持てるようにし、知識の定着を図るようにする。